

ふじえだイクボス養成セミナー事業【静岡県藤枝市】

地域の実情と課題

- 藤枝市の女性の労働力率・・・52.2%(H22国勢調査)
→静岡県内のほぼ平均的、全国的な平均より若干高い水準
- 「男女共同参画に関する市民意識調査」(H28藤枝市実施)
・・・「女性が働く上での障害」として、①結婚・出産退職等の慣行、
②長時間労働や残業、③育児・介護休暇が取得しにくいこと
の3項目に対する回答率が約半数または半数を超える値
→男性中心型の労働慣行が女性活躍の障害となっている

事業の特徴

- 女性の職業生活における更なる活躍の推進を図るため「部下のワーク・ライフ・バランスを考え、自らも仕事と私生活を楽しむ」という、イクボスの思想を啓発し、イクボスの思想に共感する事業所の増加を目指して、**事業所経営者・管理職を対象とした、セミナーを開催。**
- セミナーにあわせて、本市の産学官団体のトップによる「**共同イクボス宣言**」を実施。
本市での「イクボス思想」の醸成を図っていくことを周知した。

事業の効果

- セミナー参加企業 35事業所(目標:40事業所)
 - フォーラム参加者の満足度 96.2%
- セミナー参加企業数は目標には届かなかったが、参加者のほとんどから、参考になる内容があったとの意見を得ることができたことから、内容面では一定の成果があったと考えている。
- 一方で、本年度内に「イクボス宣言」を実施した事業所は確認できなかったため、更なるサポートが必要である。

目的・目標

【目的】女性活躍のさらなる推進には、男性中心型労働慣行等の見直しやワーク・ライフ・バランスの推進が必要であり、特に経営者や管理職がその必要性を理解することが重要となる。このために、「イクボス」の思想を啓発し、働き方の意識改革を図るとともに、女性活躍への理解を深める。

【目標】

- セミナー参加企業 40事業所
- 参加企業のうちイクボス宣言を行った事業所 4事業所

連携団体

- 藤枝商工会議所・岡部町商工会・静岡産業大学
・セミナーの共催 ・広報、周知の支援
・共同で「イクボス宣言」実施
- しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン事業
・セミナーの共催 ・広報、周知の支援

今後の課題

セミナーを受講した事業所からは概ね好評を得ることができたが、具体的にイクボス宣言を行うまでの動きや相談を受けるところまでは至らなかった。

本事業によって、イクボス思想に触れる端緒とすることができたので、引き続き普及に向けた啓発とサポートを継続していく。

企業の業績向上と社員満足を実現！

イクボス セミナー

受講料 無料

【イクボス講演会】
イクボスによる新しい働き方改革

組織の持続成長はダイバーシティマネジメントから
講師 安藤 哲也 氏

NPO法人 ファザーリング・ジャパン 代表理事

【プロフィール】
1962年生まれ、二男一女の父。
出版社、書店、IT企業等の勤務を経て、2006年に「育児も仕事も人生を豊かにする」を掲げ、NPO法人ファザーリング・ジャパンを設立、代表に就任。
2014年9月に「イクボスプロジェクト」を創設し、講演やセミナー等で全国を巡回。
厚生労働省「イクボスプロジェクト」推進チーム顧問、内閣府「イクボス推進推進委員会」委員なども務める。

主催：藤枝市、静岡産業大学、藤枝商工会議所、岡部町商工会
※会場は、しずおか中部連携事業所として開催されます。

しずおか中部連携事業

イクボスセミナー（産学官共同イクボス宣言式）

○趣旨

職業生活における女性活躍のさらなる推進のため、「イクボス」の観点から、働きやすい職場環境づくりの必要性を市内事業者等を感じてもらい、経営者・管理職の意識改革につなげる。

○日時 平成30年10月29日（月） 15:00～17:00

○会場 BiViキャン（藤枝市産学官連携推進センター）

○主催 藤枝市、静岡産業大学、藤枝商工会議所、岡部町商工会

※中部5市2町（静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市・吉田町・川根本町）連携事業

イクボスセミナー イクボスによる新しい働き方改革



講師 安藤 哲也 氏

(NPO法人 ファザーリング・ジャパン 代表理事)

【講義の内容】

- 今なぜイクボスが必要か
(日本が置かれている現状から)
- これからの企業に求められる働き方・管理職のあり方
- イクボス思想の実践事例

など

産学官トップによる 共同イクボス宣言式

- ・藤枝商工会議所会頭
- ・岡部町商工会会長
- ・静岡産業大学学長
- ・藤枝市長

の市内産学官トップ4名が、安藤哲也氏立会のもと、共同でイクボス宣言を行いました。

